

一般質問

奇々怪々の
「太鼓交流館の建設」

祝 優雄 議員

トコート1面の広さである。
このバランスをどのように説明するの。

学校教育課長

そのことについては、合併協議で協定されたものと考えている。

質問

財政事情を踏まえて、「合併協議会」で決めた財政計画も建設計画も、見直しを前提に議会で特別委員会を設置し協議の最中なので、すべての事業をストップして協議を進めるのが当然である。

質問

支所などで事業が先行しているのはなぜなのか。

市長

予算編成の中で、見過ごしてきたことは大きな問題である。

質問

深浦小学校が統合するのは自然のなりゆき、太鼓交流館建設は中止し、深浦小

学校の体育館を使うべきではないか。

小木支所長

指摘の点は理解できる。目的が違う事業なので認めていただきたい。

質問

支所長の言うように、教育目的の体育館ならば、学校がなくなる所になぜ体育館を改築したのか。

市長

深浦小学校体育館建設については、昨年から建設工事が進行している。何とかこのまま工事を進めさせてい

市長

ただきたい。
太鼓交流館については、予算は、認めていただき調整が完了するまで、事業の執行を凍結させていただきたい。

質問

深浦小学校の本体工事については、計画の見直しを行いたい。

質問

合併協議もなく、施政方針にも出てこない「佐渡太鼓体験交流館」が小木深浦地区に予算化されているが、

質問

深浦小学校に隣接していた中学校は何故小木中学校に統合したのか。

学校教育課長

旧小木町の判断で統合したが、小学校と中学校では通学距離など基準が違い、中学校の統合がされた。

質問

深浦小学校の真ん前にある保育園は統合の計画はあるのか。

社会福祉課長

今年3月をもって閉園し、小木保育園に統合する。

質問

園児が小木小学校の隣に通園する。園児が行って小学生が遠くて通えないのか。

学校教育課長

そのようなことを踏まえ、

検討委員会で検討している。

質問

深浦中学校は平成16年春から統合し、保育園は小木保育園に統合する。深浦小学校は校舎の改築はしない。

体育館が完成したら、小学校も統合する。見え見えだが、

統合がないのなら校舎の改築が先ではないか。

学校教育課長

旧小木町の段階で体育館が先と決めた。

質問

建設中の体育館はバスケットコート2面の大きさで、生徒数は44人、平成22年には、26人になる。

質問

佐渡市教育委員会の隣にある加茂小学校は、生徒数約260人で、体育館はバスケット

